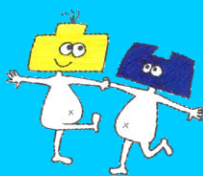


凸凹お便り

～みんなちがって みんないい～



VOL.12

発行 2023.1.吉日

倉敷発達障がい者支援センター



新年あけましておめでとうございます。2023年は癸卯(みずのと・う)のうさぎ年ですね。詳しく調べてみると「癸」には「物事の始まりと終わり」「種子が花開く直前」という意味が、そして「卯」には「春の訪れを感じる」「冬の門が開き飛び出る」という意味があるそうです。2つを合わせると今年は「これまでの努力が花開く、実り始める」という縁起の良さを表していると言えます。

今年の流れをきっかけに、皆様が力を発揮できる1年になるようお祈り申し上げます。



開催

令和4年度発達ボランティア養成講座(くらしき健康福祉プラザ)



9/3・9/27・10/4の3回にわたり、発達ボランティア養成講座を開催しました。昨年は令和元年以来久しぶりに現地(くらしき健康福祉プラザ)にて参加者の皆様と対面でお話をうかがうことができました。

テーマは「発達障がいについて」「児童期支援を中心にしたサポートの考え方」「発達障がい当事者やボランティア経験者からのお話」。

講師としてコトノハ放課後等デイサービスの林絵里奈先生、講座内でのコメンテーターとして当事者のごまにゃさんと、昨年度講座受講のボランティアさんお2人にご参加いただきました。

講座内座談会では参加の皆様が日々感じられている疑問などが飛び交う中、「そもそも障がい理解ってなんだろう」といった本質的な話題もあり、ドキリとしたスタッフ。

しかし、多くの方々とこのように率直な意見交換ができるということは、こんなに深く一緒に考えてくださる方がいるということ。背筋が伸びる思いがするとともにご参加の皆様の熱意を心強く思いました。

また、倉敷市総合療育相談センターゆめばるの方からも「親子のいいとこさがしプログラム」講座のご案内があり、そちらへもご参加くださった方もおられました。

さらに会の終了後には、早速ボランティアへのご協力をいただいております。サポートの輪が広がっていることを肌で感じております。

ご協力いただきました皆様、ご参加の皆様、ありがとうございました。



第17回高梁川流域くらしきフォーラム

～くらしき発達障がい支援フォーラム枠～
YouTube限定企画

毎年恒例のくらしきフォーラム。ここ数年はラジオ放送・YouTube配信に形を変え開催しています。そんな中、当センターは以前より開催していた



「くらしき発達障がい支援フォーラム」としてYouTube限定企画で参加させていただきました。

今回はラジオ放送にもご登壇された、岡山県住みます芸人・江西あきよしさん(吉本興業所属)、タレント・吉富さくらさん(松竹芸能所属)と一緒に発達特性について当事者の立場からごまにゃさんが座談会に参加されました。

ごまにゃさんとお2人のお話はYouTubeで期間限定配信中です。ぜひご覧ください。
(～R5. 2月末まで配信予定です)

ご案内

令和4年度支援者向け勉強会

～約束するということ～

開催日：令和5年2月7日(火)

時間：13:00～15:30

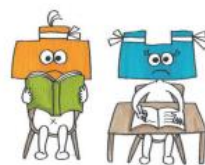
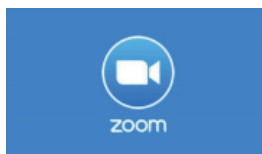
対象：発達特性を切り口としたアプローチにご関心のある皆様

参加方法：zoomによるオンライン参加

講師：川崎医療福祉大学 社会連携センター 小田桐早苗先生

実践報告：市内福祉サービス提供事業所×相談支援専門員の方

※お申し込みは裏面のセンターメール・電話番号が下のフォームから



YouTube

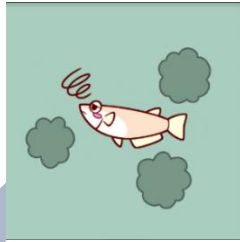


Twitter

高梁川流域くらしきフォーラム

障がい啓発を目的として開催しているフォーラム。第17回は「私たちからのメッセージ～今、伝えたい想い～」をテーマに障がい当事者の家族や障がい福祉関係者が対談を行い、その模様をラジオ放送・YouTube 配信している。

ある時、スタッフが飼育し始めたばかりのメダカが元気をなくしてしまいました。水槽が濁り、水の表面で苦しうに泳ぐメダカさん…。



・何が原因でこんなことに?
・もっと慎重に温度管理や水の質を見ておくべき?
・そのほかの方法は?

みるみるうちに元気がなくなってしまったメダカたち。

「何が原因?」「水槽内にエアレーションや水温計を入れるべき?」「水槽内の掃除・水替えをもっと頻繁に行うべき?」……いろいろ考え、えさの量や水替えの回数など一生懸命手を加えて飼育しました。しかし、結果的にはやみくもにお世話していた状況でした。

今回、人間が積極的に手を加えなくても、他の生き物や土、水草の種類など適した環境をそろえるだけで、いとも簡単にメダカが回復していく様子を見て、「無理のない共生って」こういうことなのかな?と感じました。

メダカの飼育を通してナチュラルな共存の仕方に気づかせてくれたメダカ先生に感謝です。ありがとうございました。

センターはとある生き物の生態に詳しい方(以下メダカ先生)に相談することにしました。

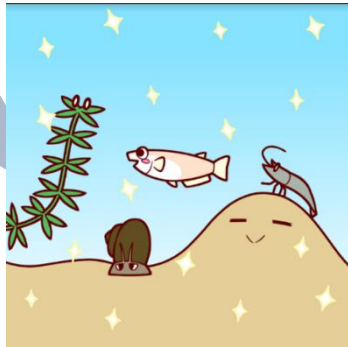
メダカ先生のアイデア

- メダカの数に合った水の量を入れる。
- 溶けて泥にならない赤玉土に替える。
- 浄化作用の強いタイプの水草を入れる。
- お掃除作用のあるエビさんタニシさんに住んでいただく。



実行して1週間後…

水槽の濁りが消え、メダカさんが水槽下部をすいすい泳ぐ様子がみられるようになりました!



Before

After

メダカとそのアライメントの人たち情報

ニホンメダカ

- 日本で一番小さな淡水魚
- 耐寒性があるので温度管理不要
- もともと群れで生活する生き物なので穏やかな性格。ケンカもしない。

今回の立役者エビさんタニシさん情報はこちら
共生ってなんだ～メダカ的水槽から見える凸凹社会～
メダカ先生の水槽講座

監修:メダカ先生



この話題を本紙作成にご協力いただいているご利用者の方々と行っている「凸凹お便り編集部会議」で取り上げました。

編集部会議でのみなさんのご意見

- ・メダカの特徴そのものを、そもそも知っているか?ということは大変かも。
- ・(メダカに限らず)好きに生きるには環境が大事。でも自分で環境を整えることができるかどうかかもポイント。
- ・負担なくまわりの手が加わることで、みんながスイスイ泳げたらいいな。

ひとこと 編集後記

今年は卯年です。自分が卯年生まれというのもあるのか、子どものころは「うさぎ」への思い入れが強かった覚えがあります。

編集サポート:ばななさん

個人的にはタニシのデザインが気に入っています。

「センター職員のつばやき」イラスト:じと芽さん

センターでは発達凸凹を実感している、もしくは理解のある方々の活動を募集しています。皆様の特技、素敵な趣味等をぜひ教えてください。

また、「発達障がい」に関する研修会、勉強会、親の会、当事者の会など当センターのホームページおよびこの広報紙に掲載させていただきますので、広報されたい方はご連絡ください。

多くの方とともに紙面を作っていければと思います。

<お問い合わせ>

社会福祉法人クムレ
発達障がい者支援センター (担当:森・福本)
〒710-0002 倉敷市生坂 836-1
TEL 086(464)0015
FAX 086(464)3980
E-mail h-siencenter@cumre.or.jp
ホームページ <http://www.cumre.or.jp>

